

# 変えないことに 成長の源泉がある



株式会社まるや八丁味噌  
代表取締役社長 浅井 信太郎 氏

## 教育随想



令和3年10月1日

# 10月号

発行・編集  
岡崎市教育委員会

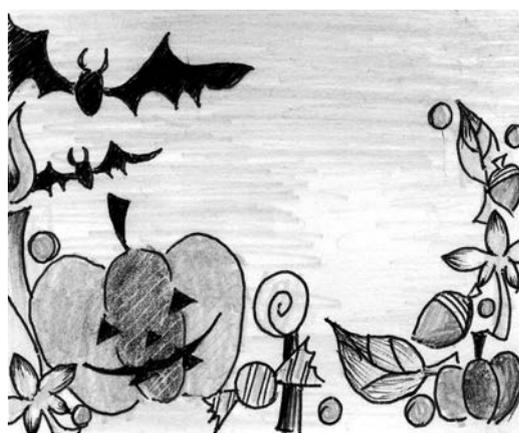
### 今月の紙面

- 教育随想…………… 1  
株式会社まるや八丁味噌  
代表取締役社長 浅井信太郎 氏
- この人に聞く…………… 2  
星城高等学校 男子バレーボール部  
監督 中根 聡太 氏
- 羅針盤…………… 2  
岩津小学校  
校長 小島 寛史
- ふれあい…………… 3  
岩津小学校  
教諭 三浦 祐揮
- 特集…………… 4  
籠田公園～中央緑道～桜城橋
- お知らせ…………… 6
- フォト・ヒストリー… 8  
はこ池で自然観察(昭和37年)
- この本を…………… 8

八丁味噌は、徳川家康公の生誕した岡崎城から西に八丁(約八七〇M)の位置に軒を連ねる二軒の味噌蔵で江戸時代初期より造られています。使うのは大豆と塩、水だけで六尺(約二メートル)の杉桶の中で二夏二冬(二年)以上の歳月をかける製法は今も変わりません。味を変えない—このための手間と努力と挑戦の連続です。三河平野の大豆、吉良の饗庭塩(あいばじお)、そして矢作川の伏流水と多湿な気候。つまり八丁味噌はこの土地と歴史が作り上げた作品といえます。しかし、時代を経るうちに必然的に一定の変化が生じますが、この変化に蔵元としてどのように応えていくのが責務です。

私は二十四歳の秋頃、永住を決意して当時の西ドイツ行きを決行しました。ただ「日本を出たい」の一念でこの決断をしたことを思い出し、この不確かな息子の決断を両親が後押ししてくれたことを今も深く感謝しています。

滞独中に語学や生活習慣を体験したことは貴重でした。居候した西ドイツ北部の老夫婦家庭の食卓は、朝食夕食の冷たいメニューは日々変わらず、日曜日の昼食のみ温かいジャガイモが並ぶ質素な食事、そして日曜の朝は村の教会へ一緒に参拝したものです。その間、ハンブルグ大学入学やドイツ人との多くの出会いを経験し、この滞独中に学んだことは、「信じることを実行する」「質素で儉約に努める」でした。シンプルですが実際には中々難しいことです。



(あさい のぶたろう)

私の経営の本質が、このドイツ滞在の経験にあります。その結果、八丁味噌の成長の源泉は、先人が遺してくれたものの中に既にあり、感じるに至っています。その価値を尊重し、さらに磨き上げていくことが、私共に課せられた役割と信じています。



苦しいときこそ笑顔で

星城高等学校 男子バレーボール部 監督  
中根 聡太氏

小学校一年生のときに、父がコーチを務めるバレーボールのクラブチームに入る。以後、矢作南小学校、矢作中学校、星城高校で石川祐希選手らと共にプレーし、前人未到の高校六冠を達成した。筑波大学でもレギュラーとして活躍する。卒業後、Vリーグ男子一部のジェイテクトに入団する。プロ二年目の二〇一九年度、正セッターとしてチームを初優勝に導く。その年に引退する。その後、中学のころからの夢であったバレーボールの指導者の道に進み、現在、星城高等学校バレーボール部監督として指揮を執る。

―選手としてプレーし続けてきた原動力は何ですか―

私はバレーボールが大好きです。バレーボールは、選手だけでなく、支えてくれる人や応援してくれる人たちの思いが一つのボールに宿り、それをチームで繋ぐ競技です。セッターは仲間からも

らったボールを繋ぐポジションです。思いやりをもって人と接し関わっていく人間力を追求できるところが魅力です。

また、私は負けず嫌いです。高さ（身長）がないことを言い訳にすることなく、バレーボールで大きい人に負けたくないという思いを大切にしてきました。そういう劣等感をエネルギーに変え、ずっとはいあがって来ました。

―どのようなことを意識してバレーボールに向き合っていましたか―

高さの壁を強く意識し始めた高校生のころ、小さい選手ならではの価値を見出すことが自分には必要だと考えました。「高さ以上の武器をもちたい。高さのある選手を活かすことができるプロになりたい」と部活終了後、自主練習に励みました。また「自分に足りない力は何か。セッターとしてどんな技術を磨くとよいか」をいつも考えながら、ボールをコントロールする力を伸ばすために練習しました。誰かに言われて練習しても成長しません。自主的にやるのが大切です。「練習は苦しい、体は痛いし高く跳べないし辛い」それでも続けてくることができました。それは高校の先生に、苦しさを楽しさに変えることの大切さを教えてもらったからです。苦しい練習を苦しい顔でやっているのは、ただ苦しさだけが残ります。でも、気持ちを前向きに変えていくことで、苦しいことを楽しむ気持ちももてるようになります。「練習は苦しいときもあるが楽しく乗り越える姿勢が大切。苦しいときこそ笑顔で」、この教えは今でも大切にしています。苦しいときこそ、自分を叱咤し、笑顔を作るよう心掛けてきました。

この姿勢を大切に、学業と両立さ

せながら大学でも部活を続けました。大変でしたが、好きだからこそ楽しんで頑張ることができました。三年の全日本大学選手権で石川選手を擁する中央大学に勝った時は気持ちよかったです。優勝は逃しましたが、人生三本の指に入るくらい嬉しいものでした。

―指導者となり、生徒たちにどのような指導をしていますか―

頭を使ってバレーボールをするように話しています。練習内容は生徒たち主体で決め、チームで勝つための方法を模索しています。私が学生時代に出会った全ての先生方の方針は、自分たちで考えてバレーボールをするということでした。同じ目的に向かって、チームで考えてバレーボールを作っていたら最高です。

また、私がそうであったように苦しい練習を楽しんでやるよう伝えています。自発的に苦しい練習に挑戦し、楽しいと感じることができれば、次のステージに進むことができます。チームで苦しみを共感しながら、皆で楽しい方向に変えていくことで、練習の質もかなり上がるはずです。バレーボールはチームプレーです。仲間の調子が悪い時、気持ちを持ち上げられるような声掛けをして、チーム全体で助け合い、楽しく練習できるようにしています。苦しいときこそ笑顔は大切です。



氏名 なかね そうた  
生年月日 平成八年 三月二日  
住所 岡崎市大和町

リスクから学校を守る

岩津小学校 校長 小島 寛史



「お父さんのことで話したことは今でも覚えていて、教室に校長先生が来るたびに、そのことを思い出します。―略―私は次、最高学年です。『頼る』ではなく『頼られる』六年生になれるようがんばります。」  
六年生への進級直前、家庭環境が不安定で心身ともに心配されていた児童A。その児童から突然届いた手紙だった。学校では児童Aに対して、安全で安心できる日常生活を送ることができるよう状況や対応について全教職員で共通理解を図り、大切な命を守るべく、きめ細やかな支援を継続してきた。優しく話しかけて心の内面を探ったり、物事に積極的に取り組めるよう応援したりしてきた。

さて、学校危機管理とは、子供たちや教職員の生命・心身等に危害をもたらすさまざまな危機を未然に防ぐことである。また、万が一、事件・事故、災害が発生した場合には、早



## 思いを表現する喜び

岩津小学校

教諭 三浦 祐揮

Aさんは、係活動などに進んで取り組み、任された以上に動くことができる。「水筒かご、だれか運んでくれないかな」と呼びかけると、「おれがやる」と、いの一、番に声を上げ、手伝ってくれる。算数の時間にわからない問題に直面したときには、「どういうこと」とぶっさらばうに教えを請い、説明を聞いて理解すると「そういうことか」と明るい声で解き進める。

しかし、一年の目標を書くときに「わからない。なんて書けばいいのかわからない」と言って、手が止まり、机に突っ伏してしまった。算数のように正解があって、答えが見えてくると取り組めるが、自分の考えや思いを表現することには自信がない子であった。私は自分の思いに自信をもち、素直に表現できるようになってほしいという願いをもった。

図画工作の授業で「春と笑顔」を

テーマにした絵画を題材に選んだ。このテーマなら思いやイメージが浮かびやすく、自分なりの表現で描き、そのよさや楽しさを感じてくれると考えた。テーマについてみんなで話し合った後、多くの子供たちは、画用紙に思い思いに絵を描いていた。しかし、Aさんは、手が動かず、顔を俯せていた。Aさんに「話し合いいでは桜を思い浮かべた子が多かった」とを振り返らせることにした。私が「春といえばどんな花を思い浮かべるかな」と尋ねると、Aさんは少し考えて「わかった」と言い、手を動かして始めた。ところが桜の花を一つ書くたびに「次はどうすればいいかわからない」と尋ね、その度に指示を仰いだ。最後には「これでいいですか」と投げやりな感じで作品を提出した。

そこで、オリンピック選手の一場面を立体で表現する造形活動なら、野球のクラブチームに所属しているAさんは、自分の思いを表現できるのではないかと考えた。多くのスポーツがある中で、Aさんは、やはり野球を選んだ。しかしどの場面にするか決められず悩んでしまった。顔からやる気が失せていき、前回同様顔を俯せてしまった。Aさんの思いを引き出すために「どんな場面が一番かっこいいと思うのかな」と声をかけた。するとAさんは、はっと顔を上げ、一呼吸置いて「バッティ



ングもいいけどピッチングの方がかっこいい」と答えた。すかさず「ピッチングのフォームってどんな感じなの」と尋ねると「投げるとき肘はこうで」とAさんは、熱く説明を始めた。さらに、自分の体を使って、私にかっこいい投げ方を教えてくれた。今回は、肘の角度を何度も調整するなど、作品作りに没頭する様子が見られた。授業が終わると、「先生、見て」とAさんは得意げに作品の説明を始めた。Aさんの生き生きとした表情を見て、私の相槌も自然と大きくなった。「がんばったね」と声をかけると、満面の笑みで、作品を大事そうに棚に飾った。そこには自分の思いを、自信をもって素直に表現するAさんの姿があった。

期収束を図るために、適切かつ迅速に対処することである。そのために、危機管理には次のプロセスがある。平常時の対応、緊急時の初動・初期対応、収束時の対応である。

危機管理は、「リスク」を認識することから始まる。リスクはどこにでもあり、絶対になくならないと認識することでもある。そのためには、平常時の対応が最も大切で、「風通しのよい職場作り」が鍵となる。全教職員が危機管理意識を高め、リスクの芽に気付く「異変センサー」をもち、危機の未然防止を図ることである。また、子供をつぶさにとらえ、危機の予知・予測をし、問題の早期発見に努めなければならない。そして危機に至る前に、事態が収まるよう努力することである。緊急時の初動・初期対応については、迅速な意志決定をし、適切かつ冷静に対処して、子供や教職員の生命・身体を安全を守ることである。さらに組織的な対応で被害を最小限に止め、危機の拡大防止に努めることである。収束時の対応については、危機が一旦収まった後、心のケアや通常の学校生活の再開を図るとともに、再発防止の手立てを打つことが大切である。

日頃より黙々と努力するが、はげ屋の児童A。全教職員の厚い支援が、児童Aの心の安定と前向きな姿勢を力強く支えた。

# 新たな賑わいを生み出すスポット！籠田公園～中央緑道～桜城橋



▲中央緑道イベント時の賑わい

「みちひろば」空間の形成。自由に移動可能なイス、愛称「天下の道」が示すように徳川四天王像の跡が残され、歴史の学びの場でもある。



▲自由に利用できる移動可能なイスとテーブル



▲自由に利用できる移動可能なイスとテーブル



▲徳川四天王像「榊原康政像」



人物の解説を聞くことができるQRコード



▲井伊の赤兜「井伊直政像」

【桜城橋】長さ 121.5m、幅 16m。「橋上の公園」として飲食店や屋根付きの休憩所の整備を予定。



▲桜城橋全景



▲イベント開催時の桜城橋の賑わい



▲額田産のヒノキを使用した桜城橋の姿

市のまちづくり基本計画「QURUWA戦略」により、公民連携による乙川リバーフロント地区の開発が進んでいる。QURUWA（くるわ）とは、名鉄東岡崎駅から公共空間の各拠点を結ぶ主要回遊動線を指す。その動線が、かつての岡崎城跡の総曲輪（そうぐるわ）の一部と重なること、また、動線が「Q」の字型に見えることから命名されている。その中でも、乙川人道橋から籠田公園にかけてのエリアは、東岡崎からの人流を回遊させる起点となり、特に開発に力が入られている。「籠田公園」は、令和元年七月に「つどい・つながり・つづく」をコンセプトにリニューアルオープンした。新設された人道橋は、令和二年三月に完成し、公募の上、中学生の案が採用され「桜城橋」と命名された。現在、各種イベントが開催され、またボランティアで拭き掃除が行われるなど、市民に愛される橋となっている。また籠田公園と桜城橋を結ぶエリアは「中央緑道」として整備され、今年の三月にオープンした。こちらも、中学生の案で「天下の道」という愛称が付けられた。三か所とも、公園緑地課への申請で団体イベント利用が可能で、籠田公園は来年度から、民間指定管理者の管轄となる。

新たな賑わいを生み出しているこのエリアは、岡崎の顔として存在感を増している。また、籠田公園の多目的ステージは、小・中学生や各種団体の発表の場として使用され、ますますの活用が期待される。

**【籠田公園】** 中央に芝生の広場があり、子どもたちが裸足でも安心して遊ぶことができる。屋根付きの多目的ステージも備え、各種発表の場としての活用されている。



▲発表の場として活用される公園内の多目的ステージ



▲安全性の高いゴムチップが敷かれた噴水と複合遊具



▲梅園小によるイベントでの活用の様子と賑わい

**【中央緑道】** コンセプトは「スヤテーブルが置かれるほかがあり、旧東海道も歩道とし



▲河岸段丘の起伏を利用したデッキ状



▲伝説の太鼓「酒井忠次像」 ▲十万石の



▲家康に過ぎたるもの「本多忠勝像



令和三年度研究発表会・授業を語る会

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策を十分講じながら、研究発表会・授業を語る会を開催する。

教員の授業力向上に役立つ学びの機会として、ぜひ研究発表会、授業を語る会を活用してほしい。

研究発表会

◆岡崎市立羽根小学校

十月十三日(水)

※市委嘱(R1~3) 「プログラミング的思考育成からはじめ創造的に学ぶ子の育成」

主体的・対話的なプログラミング学習を通じた新しい学びの実現」

羽根小学校では、プログラミング的思考育成を通して、超スマート社会で活躍できる「チェンジメーカー」としての資質育成を目指し、研究を推進している。具体的には、理科や生活科、図画工作科、音楽科を中心とした全教科・領域を対象に、各教

科のねらいを達成する要素としてプログラミング的思考を育てる学びを取り入れている。また、ホワイトボード等で思考の可視化を図り、主体的・対話的な学びを促進している。

◆岡崎市立翔南中学校

十月二十日(水)

※市委嘱(R1~3)

「未来をたくましく生きる力を育む教育の創造」

翔南中学校では、「実社会・実生活の事象を導入した課題解決型の授業」「協働的な課題解決の場」「SOZOの時間」の三点に重点を置き、研究に取り組んできた。

この三点を工夫した授業展開により、生徒がよりよい未来を「想像」し、新たな技術や考え方を「創造」していく力「SOZO」を培うことができると考えている。この「SOZO」を「未来をたくましく生きる力」と捉え、授業実践を重ねてきた。

当日は、全学級の授業公開、研究発表、授業を語る会を行う。

◆岡崎市立広幡小学校

十月二十七日(水)

※市委嘱(R1~3)

「自らの意思で 発見・判断・実行できる スーパーソサエ

ティキッズの育成

一人一人の子供が主体的に学び、深め、広げていく学びの在り方」

広幡小学校では、これからのソサエティ5.0社会を生き抜く子供たちを育てるために、「主体的に学ぶ子」「学びを深める子」「学びを広げる子」を、目指す「スーパーソサエティキッズ」像として研究を進めてきた。

その実現のために、単元構想を工夫し、タブレット端末を活用した協働的な学びを進める中で、思考の変容を自覚し、学びで得た新たな価値を日常生活や次の学習へと発展的につなげられるようにする授業を実践してきた。

当日は、全学級・全教科の授業公開および授業を語る会を実施する。

◆岡崎市立竜海中学校

十一月十二日(金)

「自ら学び続ける生徒の育成」(第十二次研究三年次)

「読む」「書く」の充実を図り、「わかる」の実感を強める学習指導を中心に」

竜海中学校では、昭和三十八年以来、五十八年間一貫して、「わかる学習指導」の自主研究を続けている。第十二次研究(R1~3の四年間)では、「自ら学び続ける生徒の育成」を研究主題とし、今年度で三年次を迎え

た。新学習指導要領における「主体的・対話的で深い学び」の主旨を「自律」と捉え、自分に必要なことを考え、自ら計画して学んでいくことをめざして平素の教育活動を進めている。各教科の授業では、三段階の課題解決的な学習過程の充実を図っている。

当日は、国語・社会・数学・理科・音楽・保健体育・英語・特別支援(道徳)で公開授業及び研究協議を行う。生徒が自分の考えを更新していくための関わり合いを「戦略的交流」と定義し、生徒一人一人にとって真に価値ある関わり合いの在り方について、生徒の学びの姿の見取り(授業記録)に基づき研究協議を行う。

◆岡崎市立矢作東小学校

十一月二十六日(金)

「確かな国語力の向上をめざす授業の構築」

「論理的文章を読むことから活用することへと展開する授業から」

矢作東小学校がめざすのは、子供がより効果的に自分の思いを表現できる姿である。自分の思いや考えを相手に伝えるための適切な方法を、論理的文章を読み取ることから学び、その述べ方を用いることで実現できると考える。そこで、説明文単元を【一次】見通しをもつ【二次】

身に付ける【三次】活用するに分け、指導過程を工夫して研究を進めてきた。当日は全学級で授業公開し、学年ごとに授業を語る会を行う。

表彰関係

◆第四十三回全日本中学校ソフトボール大会

ベスト十六

城北中

◆第五十二回全国中学校ソフトテニス大会

女子団体の部

ベスト十六

矢作中

◆第六十一回全国中学校水泳競技大会

男子五〇m自由形

出場 竜海中 河田 怜

◆第四十八回全日本中学校陸上競技選手権大会

男子一〇〇mH

出場 竜海中 杉浦 颯志

男子八〇〇m B決勝六位

城北中 宮下 颯汰

男子一五〇〇m 十四位 南中

尾田 悠翼

女子一〇〇mH 六位 矢作北中

大和 令奈

女子八〇〇m B決勝八位

矢作北中 内田 詩乃

女子四種競技 七位 南中

高塚 虹百

◆第六十七回全日本中学校通信陸上競技大会

○女子四種競技

五位 南中 高塚 虹百

◆令和三年度全国中学生カヌー大会

○カナディアン男子一人乗りの部

一位 新香山中 若宮 駿士

三位 新香山中 平松 大輝

○カヤック女子一人乗りの部

五位 新香山中 成瀬あかり

○カナディアン男子二人乗りの部

三位 新香山中 近藤 翔也

三位 新香山中 平松 大輝

○カヤック男子二人乗りの部

三位 新香山中 河野 文晃

四位 新香山中 成瀬あかり

○カヤック女子二人乗りの部

四位 新香山中 成瀬あかり

○カヤック男子四人乗りの部

二位 新香山中 河野 文晃

二位 新香山中 河野 賢晃

ベッリリーノ石川琉羽

塩谷 翼

○カヤック女子四人乗りの部

二位 新香山中

成瀬あかり・浅香 あい

栗田 萌衣・前田 芽依

◆第七十五回愛知県中学校総合体育大会

○バスケットボール男子

二位 甲山中

○軟式野球

三位 北中

○サッカー

三位 竜南中

三位 竜南中

◆第四十二回愛知県ジュニアオリンピック陸上競技大会

○男子三〇〇〇m

二位 城北中 神田 悦士

○棒高跳び

三位 六ツ美北中 河合 峻弥

○女子一〇〇m YH

一位 矢作北中 大和 令奈

二位 南中 高塚 虹百

○女子八〇〇m

三位 矢作北中 内田 詩乃

○女子三〇〇〇m

一位 矢作北中 秋竹 凜音

二位 矢作北中 秋竹 奏音

三位 竜海中 高木 杏珠

◆第六十五回中日少年中学軟式野球大会愛知県大会

北中

二位

◆AIFA U15 サッカー

リーグ地区一位大会 2021

優勝 甲山中

◆第七十六回東海吹奏楽コンクール

○中学の部

金賞 竜海中

◆第三十八回NHK杯全国中学校放送コンテスト

○テレビ番組部門

参加賞 北中

◆第五十一回愛知県野生生物保護実績発表大会

愛知県自然観察指導員連絡協議会賞

◆ASCA夏季水泳競技大会

○一〇〇m バタフライ

二位 緑丘小 船越 健

◆第四十七回全国らくのうギャラリー

入選 豊富小 川端 恭幸

令和3年度小学校水泳大会 大会結果

【北ブロック】会場：市内小学校プール

	優勝	第2位	第3位
男子	六名	大樹寺	井田
女子	細川	矢作西	井田

【南ブロック】会場：市内小学校プール

	優勝	第2位	第3位
男子	福岡	羽根	矢作南
女子	竜美丘	羽根	小豆坂



個人成績（1位のみ）

新…大会新記録

種目	男子			女子		
	氏名	学校	記録	氏名	学校	記録
5年50m自	柴田 励	六名	38"9	池野優美花	矢作西	35"6
	石川 煌起	矢作東	新31"2	長岡 樹里	矢作東	33"5
6年50m自	沖口 稜	附属	34"1	齊藤 美来	矢作西	33"3
6年100m自	大竹 暁生	大樹寺	新1'06"7	片山 灯夏	大門	新1'05"7
6年100m平	杉山 昊微	六名	1'25"4	岩崎清緒良	井田	新1'26"9
	渡橋 成兜	岩津	36"6	成瀬 叶絆	細川	新38"5
6年25mバタ	二村 有哉	六名	18"1	高橋 知里	井田	20"3
				三鴨 紗雪	矢作東	17"8
6年50m平	鈴掛 雄大	井田	新39"4	宮島 愛澄	細川	49"9
200mリレー	二村・岡田 梅村・杉山	六名	2'28"7	秋田・宮島 近藤・成瀬	細川	2'26"3

個人成績（1位のみ）

新…大会新記録

種目	男子			女子		
	氏名	学校	記録	氏名	学校	記録
5年50m自	中山 新太	山中	新31"6	種池 祐月	六ツ美北中	33"6
6年50m自	杉本 直樹	羽根	29"0	市川 光咲	竜美丘	37"6
6年100m自	木村 珀斗	福岡	新1'07"2	柴田 奈那	根石	新1'06"7
6年100m平	大田 雄輔	六ツ美北中	1'28"0	道本 瑛万	六ツ美西中	1'34"5
6年50m背	船越 健	緑丘	新32"2	鈴木 里桜	羽根	新34"8
6年25mバタ	横澤 和真	福岡	17"0	土屋 夏乃	三島	16"8
6年50m平	河田 聖央	三島	45"7	稲垣 杏南	男川	51"8
200mリレー	坂井・横澤 鈴木・木村	福岡	2'19"3	高木・竹下 市川・高木	竜美丘	2'29"2

教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

番号	相談窓口	電話番号	相談受付日時
1	岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30
2	岡崎市こころのホットライン	0564-64-7830	月曜日～金曜日 13:00～20:00
3	愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～17:00
4	あいこころのホットライン 365	052-951-2881	年中無休 9:00～16:30
5	名古屋いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間

・カ  
ツ  
ト  
竜  
海  
中  
財  
津  
恵

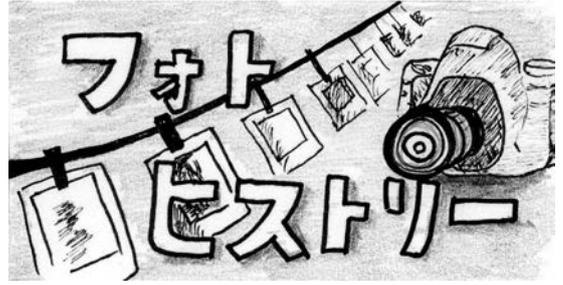
## はこ池で自然観察 (昭和37年)

写真提供：三島小学校

写真は、屋外理科設備の一つ、コンクリートで囲った「はこ池」にアヒルを放して、動物との触れ合いを楽しむ子供たちの様子である。

昭和三十年、新校舎が建てられ、現在の位置に移転した三島小学校。当時施行された理科教育振興法に合わせて、理科施設・設備の充実を図った。教職員と保護者が一緒になって理科教育の研修も受けた。ダンプで土を運び、ウンボで土を起すなど、保護者の協力を得ながら、子供、教職員が力を合わせ、屋外施設を作った。こうした活動が実を結び、ソニー理科教育振興資金金賞を受賞した。

市内すべての学校で、教職員と保護者が協力して教育活動を支えてきた。その形は変わっても、学校と家庭、地域との連携は、今もなお学校教育の柱となっている。



「灯火親しむべし」  
秋の夜長は過ごしやすく、灯りをつけて本を読むのがよいという故事である。夜、耳を澄ませば「リリンリン」「コロコロコロ」とあちらこちらから美しい音色が聞こえてくる。ふだんの慌ただしい生活を忘れ、心が落ち着く瞬間である。心地よい風、音を感じながら本に親しむ。季節を味わう感性を磨きたい。

# どホ

細く険しい道でも、諦めずに全力で進んできた。「苦しいことも楽しんでやり抜く」ということを師から学んだ。その受け継いだ精神を体現してきた中根氏の言葉には重みがある。

皆が順調に夢や目標に到達できるわけではない。前に進んでいけるよう導いていくことも教師の役割である。

# 神無目



▶みんなと下部川を探索

「つどい・つながり・つづく」をコンセプトに、籠田公園エリアの再整備が進んでいる。遊び場が充実した籠田公園では、子供たちの歓声が聞こえてくる。木の香が漂う橋の上には、キッチンカーが並び、お客さんが集う。岡崎市の新たなスポットで、笑顔と心はいつまでもつながり続けるだろう。



\*にほんでいきる 毎日新聞取材班編 明石書店 ¥1,600

心に残った一文  
「にほんでいきる」という言葉が、過酷さを物語るのではなく、すべての子供たちが安心して学び、育ていけることを象徴する言葉になってほしい。

学校になじめず、荒れた生活を送る子、思いが伝えられず、話をしない子、会話ができるようになれば、学習も大丈夫と思われ苦しむ子等、十分に日本語教育を受けられなかった子供たちのその後の実態が記されている。

岡崎市にも、日本語指導を必要とする児童生徒が600名ほどいる。こうした子供たちのために、日本語初期指導教室（プレクラス）を開設したり、各校でより充実した日本語指導ができるように日本語教室を行ったりしている。

外国人児童生徒教育が担う役割の大きさを改めて認識する機会となった。

- \* 渋沢栄一と安岡正篤で読み解く論語 安岡 定子 プレジデント社 ¥1,700
  - \* 自分と相手の非認知能力を伸ばすコツ 中山 芳一 東京書籍 ¥1,700
  - \* 1日1話、読めば心が熱くなる 365人の仕事の教科書 藤尾 秀昭 致知出版社 ¥2,350
- 竜美丘小学校 吉田 章二